子どもの名前 お入日 記入日

7-1. 保育所・こども園の様子 (所属所・園
*保育所・こども園等でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。
実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。
◎:配慮や支援は必要がない ○:何らかの配慮や支援が必要
Δ:多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

			で又接を必安とする(具体的にこれへにさい。)
	項目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健康	①生活習慣(食事・排泄など)		
健康の保持	②生活リズム		
持	③投薬・アレルギー・発作など		
心理的な安定	①感情のコントロール		
	②状況の理解や変化への対応		
安定	③活動への意欲		
人間	①人とのかかわり		
関係の	②集団行動		
形成	③ルールの理解や遂行		
環接	①見え方・聞こえ方		
環境の把握り体の	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など		
	③活動への集中		
	①身体全体を使った運動(姿勢 の保持·移動·協調運動など)		
の動き	②手指を使った運動(着替え・ 工作などの際の器用さ)		
П шг	①指示や話の内容理解		
コミュニケ	②言語表出・発声・発話能力		
ハーション	③相手とのやり取り		
ョン	4状況に応じたコミュニケーション		
	①文字・数字への興味・関心		
その他	②遊び		
	③持ち物の管理		
		1	

- ※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。
- ※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

子どもの名前 お入日 記入日

7-2. 保育所・こども園の様子 (所属所・園 *保育所・こども園等でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。 ◎: 配慮や支援は必要がない ○: 何らかの配慮や支援が必要 Δ: 多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

			で又接を必安とする(具体的にこれへにさい。)
	項 目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健康	①生活習慣(食事・排泄など)		
健康の保持	②生活リズム		
持	③投薬・アレルギー・発作など		
心理的な安定	①感情のコントロール		
	②状況の理解や変化への対応		
安定	③活動への意欲		
人間	①人とのかかわり		
関係の	②集団行動		
形成	③ルールの理解や遂行		
環接	①見え方・聞こえ方		
環境の把握り体の	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など		
	③活動への集中		
	①身体全体を使った運動(姿勢 の保持·移動·協調運動など)		
の動き	②手指を使った運動(着替え・ 工作などの際の器用さ)		
П шг	①指示や話の内容理解		
コミュニケ	②言語表出・発声・発話能力		
ハーション	③相手とのやり取り		
ョン	4状況に応じたコミュニケーション		
	①文字・数字への興味・関心		
その他	②遊び		
	③持ち物の管理		
		1	

- ※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。
- ※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

年齢	こ応	じて	コピ	<u>'</u> —ر
アギ	:估口	ヽ とナ	二士	\

子どもの名前

記入日

)

7-2. (コピー用)保育所・こども園の様子(所属所・園

*保育所・こども園等でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。

◎:配慮や支援は必要がない ○:何らかの配慮や支援が必要 歳児△:多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

成児 △:◎		や文版を必要とする(具体的にこ記入ください。)
項目		実態・配慮点や支援の方法
①生活習慣(食事・排泄など)	
②生活リズム		
③投薬・アレルギー・発作など		
①感情のコントロール		
②状況の理解や変化への対応	<u>.</u>	
③活動への意欲		
①人とのかかわり		
②集団行動		
③ルールの理解や遂行		
①見え方・聞こえ方		
②その他の感覚(前庭覚・味覚 嗅覚・触覚など)・過敏症など		
③活動への集中		
②手指を使った運動(着替え 工作などの際の器用さ)	•	
①指示や話の内容理解		
②言語表出・発声・発話能力		
③相手とのやり取り		
4状況に応じたコミュニケーション		
①文字・数字への興味・関心		
②遊び		
③持ち物の管理		
	項 目 ①生活習慣(食事・排泄など ②生活リズム ③投薬・アレルギー・発作など ①感情のコントロール ②状況の理解や変化への対応 ③活動への意欲 ①人とのかかわり ②集団行動 ③ルールの理解や遂行 ①見え方・聞こえ方 ②その他の感覚(前庭覚・味覚・強覚・触覚など)・過敏症など ③活動への集中 ①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など) ②手指を使った運動(着替え工作などの際の器用さ) ②非元や話の内容理解 ②言語表出・発声・発話能力 ③相手とのやり取り ④状況に応じたコミュニケーション ①文字・数字への興味・関心 ②遊び	項 目 支援度 ①生活習慣(食事・排泄など) ②生活リズム ③投薬・アレルギー・発作など ①感情のコントロール ②状況の理解や変化への対応 ③活動への意欲 ①人とのかかわり ②集団行動 ③ルールの理解や遂行 ①見え方・聞こえ方 ②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など ③活動への集中 ①身体全体を使った運動(姿勢の保持・移動・協調運動など) ②手指を使った運動(着替え・工作などの際の器用さ) ②非方や話の内容理解 ②言語表出・発声・発話能力 ③相手とのやり取り ④状況に応じたコミュニケーション ①文字・数字への興味・関心

- ※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。
- ※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

子どもの名前	記入日	

8-1. 小学校・中学校の様子 (所属校

* 小学校・中学校でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。 ②: 配慮や支援は必要がない 〇: 何らかの配慮や支援が必要

	項	目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健	①生活習慣	(食事・排泄など)		
健康の保持	②生活リズム	<u> </u>		
持	③投薬·アレル	ルギー・発作など		
心理	①感情のコ	ントロール		
的な・	②状況の理解	昇や変化への対応		
安定	③活動への	意欲		
人間	①友人関係			
人間関係の	②集団行動			
形成	③ルールの	理解や遂行		
環境の把握	①見え方・閩	引こえ方		
		・覚(前庭覚・味覚・ ょど)・過敏症など		
	③活動への	集中		
身体の動き	①身体全体を の保持・移動	を使った運動(姿勢 動・協調運動など)		
	②手指を使っ 工作などの	った運動(着替え・ 際の器用さ)		
П	①指示や話	の内容理解		
コミュニケ	②言語表出•	発声•発話能力		
ハーション	③相手との	やり取り		
ュン	4状況に応じた	コミュニケーション		
	①認知(言語	・文字・数量など)		学級での様子・学習面での配慮等
Z	②持ち物の	管理		
その出				
他				

- ※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。
- ※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

子どもの名前	記入日	

8-2. 小学校・中学校の様子 (所属校

* 小学校・中学校でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。 実態と配慮や支援 各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。 ②: 配慮や支援は必要がない 〇: 何らかの配慮や支援が必要

小·中 年生 Δ:多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

	 項 目	支援度	実態・配慮点や支援の方法
健	①生活習慣(食事・排泄など)		
健康の保持	②生活リズム		
保持	③投薬・アレルギー・発作など		
心理	①感情のコントロール		
的な	②状況の理解や変化への対応		
安 定	③活動への意欲		
人間	①友人関係		
人間関係の	②集団行動		
形成	③ルールの理解や遂行		
環境の把握	①見え方・聞こえ方		
	②その他の感覚(前庭覚・味覚・嗅覚・触覚など)・過敏症など		
1/全	③活動への集中		
身体の動き	①身体全体を使った運動(姿勢 の保持・移動・協調運動など)		
動き	②手指を使った運動(着替え・ 工作などの際の器用さ)		
П ///	①指示や話の内容理解		
コミュニケ	②言語表出・発声・発話能力		
ーシー	③相手とのやり取り		
j ン	4状況に応じたコミュニケーション		
	①認知(言語・文字・数量など)		学級での様子・学習面での配慮等
7	②持ち物の管理		
その他			
他			

- ※ 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。
- ※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。

学年に応じてコピーし てお使いください。	子どもの名前	記入日	
C00 DC 1/2C 0 8			

8-2. (コピー用) 小学校・中学校の様子(所属校*小学校・中学校でのお子さんの様子や支援についてご記入ください。

各項目ごとに、支援度を3段階でご記入ください。 実態と配慮や支援

◎:配慮や支援は必要がない ○:何らかの配慮や支援が必要 年生 △:多くの配慮や支援を必要とする(具体的にご記入ください。)

小•中 項 支援度 実態・配慮点や支援の方法 ①生活習慣(食事・排泄など) 康 の ②生活リズム ③投薬・アレルギー・発作など 心 ①感情のコントロール 理 的 ②状況の理解や変化への対応 な 安 ③活動への意欲 定 人間関 ①友人関係 係の ②集団行動 形成 ③ルールの理解や遂行 環境の ①見え方・聞こえ方 ②その他の感覚(前庭覚・味覚・ 护握 嗅覚・触覚など)・過敏症など ③活動への集中 身体の動き ①身体全体を使った運動(姿勢 の保持・移動・協調運動など) ②手指を使った運動(着替え・ 工作などの際の器用さ) コミュニケ ①指示や話の内容理解 ②言語表出・発声・発話能力 ĺ ③相手とのやり取り ショ (4)状況に応じたコミュニケーション ①認知(言語・文字・数量など) 学級での様子・学習面での配慮等 ②持ち物の管理 そ ഗ 他

- 分類は一例です。自立活動立案の際には、何に起因するかを考え、適切な区分に記入してください。 X
- ※ 項目の内容や罫線の幅は、お子様の実態に応じて適宜変更してください。